

Q 避難所で本が必要になったら？

A 毎日新聞社や出版団体が
図書を贈る運動をしています



児童図書については、毎日新聞社と、財団法人大阪国際児童文学館などが展開している「いっしょだよ」キャンペーンで対応しています。学校や幼稚園、保育所、児童館などが対象ですが、避難所も、閉所後に学校図書館などに移管するのならOKです。詳しくは同文学館（☎06・6744・0581）に問い合わせてください。

一般図書については、出版3団体などが3月23日に設立した

「〆大震災▽出版対策本部」が避難所への寄贈を続けています。広報委員長の坂本隆さん（61）によると、約3万冊を避難所などへ贈ったそうです。

「未就学」「小学校低学年」「同高学年」「中学生」「一般」の五つに分け、約40冊ずつ箱に詰めて送っています。代金、配送料は無料です。坂本さんは「本が皆さんの心の安らぎにつながってほしい」と話します。

希望者は、はがきに受け取り責任者の氏名と送付先の住所、電話番号、人数、年齢構成を書き、〒162-0

828 東京都新宿区袋町6 日本出版クラブ内〆大震災▽出版対策本部へ。【柴崎達矢】

ミニニュース

■あす仁和寺で追悼法要 東日本大震災から100日になるのを前に、真言宗の「殉難者追悼法要」が16日午後2時46分から、京都市右京区の仁和寺（にんなじ）金堂で営まれる。震災発生時刻に合わせた。宗派は問わず、希望者は予約なしで参加できる。

真言宗の全国18本山でつくる「真言宗各派総大本山会」（事務局・京都市東山区）が主催。各本山の管長らが参列する。京都市にある東北地方の各県人会の代表らも焼香する予定。雨天決行。問い合わせは同会事務局（075・561・4819）。